



町有土地の調査で

生れた一萬五千圓

道路溝渠の無断使用二百余戸
既に発見された面積五百坪余

平町が道路溝渠その他町有地も移轉されず従つて免
土地の無断使用に對する罰金にもなつてゐないので之
は本年四月上旬から開始
されて漸く七、八分の調査
を遂げてゐるが此の該當戸
数は二百余戸で
最も多きものに於て
十六坪、少なきもので一坪
の無断使用合計面積約五百
坪に達し取敢へず各人から
の使用許可證をとつてゐる其
の使用料を大体一坪に付
一ヶ年一圓と、
て五百圓、やがて公用廢止
による賣却に於て坪當り三
十圓平均とすれば實に一萬
五千圓の新財源を得た譯で
あつて本年一杯を豫定する
同調査 完了の上にて現
はれ、數字は相當巨額に上
るものゝ如くであるが尙ほ
町有土地として即今處分不
能のものがあるから例へ
ば新川町道路の
兩側の 如き去三十九
年の大火災に於て路幅を寄
附によつて擴張せるもの等
結果稅務係員の出張所を設
その後分割もしなければ所

小農經營の

研究協議

來る二十八日
日平町にて
縣農務課の主催する小農業
經營に關する石城地方の協
議會は來る二十八日午前九
時から郡内各町村の勤業主
任並に農業技術員及び郡農
會その他の役員を招集し
半町公共團體事務所にて
催す。

縣稅務の

出張所

平町に設置し
て四名の係員
縣が各郡下に於ける納稅成
績の不良なるに手を焼いた
結果稅務係員の出張所を設
置することになつた其の配

警中校長

長崎縣視學官が

本縣田村出身
縣立警城中學校では唐土校
長の轉任後久しく欠員であ
つた後任校長として長崎縣
視學官橋本文治氏を迎ひ今
十八日同氏の着任を見たが
橋本校長の着任は左記の如
く本縣田村郡の出身で福島
師範卒から振出されてゐる
ので來る二十二日午後五時
同校同窓會主催を以て平町
谷口樓に歓迎會を開催の筈
である。

警銀の和議で

來る廿日平町

公共團體にて
平町の警銀銀行が預金株化
の更生案を立て極力その復
活に盡してゐたが八分通り
まで漕ぎつけた其後が困難
のため和議法による整理に
よつて開業を企畫されたの
で公金十八萬圓を預金して
ゐる石城郡内の右關係町村
優長なる講評をうけた。

農漁村の救済融通

石城は廿萬圓位か

目下希望額を取纏め申中だが
確實な計畫ならば頗る有利
失業救済並に農山漁村の窮に
乏に處する對策として七千
萬圓を融通される石城郡の
希望見込額は目下郡農會に
於て取纏め申中であるが右は
副業及び農山
漁村の 共同施設に對
するものを主とし小開墾、水
害復舊、小設備の改良新設
暗渠排水、小用排水改良等
業等耕地整理、氣象改良が
島師範卒後東京高師入學
明治四十二年卒業、東京
青山師範教諭、東京高師
專攻科入學大正二年卒業
仙臺地方幼年學校教授、
宮城縣女子師範學校教諭
首席佐沼中學校校長、函館
師範學校校長（在職中歐米
各國に一年半教育上の研

平稅務署の

事務成績

優良の講評
既報仙臺稅務監督局に於け
る平稅務署の一般事務監査
は去十五日から十八日まで
四日間亘り局屬四名によ
つて行はれてゐたが十八日
豫定の通り終了し同局總務
部長長谷川孝治氏から成績
優良なる講評をうけた。

融通されるもので十

八年乃至二十九年賦償

還になつてゐる同郡に於け
る好事業としては水害田畑
の復舊又は夏井川や鉾川上
流の河岸に沿ふ山村の各所
產馬組合とか農會とか共に

究觀察）長崎縣視學官を
經て今日に至る警中校長
八月三十日任命
務所樓上に開催し議否を決
することになつた。

將來にも有利なので
二十萬圓位の希望額に達す
るであらう。

四倉商市場に於ける十七日
は愈よ出荷薄となつて七日
五百八十匁の價格十三圓
三十錢に過ぎず最高一圓八
十錢、最低一圓六十八錢で
平均一圓七十七錢（掛目十
九）に取引されたが開市以
後の取引累計は二萬一千二
百九十匁二百十匁代金四萬
二千三百六十四圓八十八錢
である。

平運輸に於て
一割減給
是で浮み上る
金は月二百圓

平町の平運輸會社では現下
關係の深い團體であつて之
れにたづさはる役職員の勞は
云ふまでもなく其の活用は
力を俟つことが施行初期に
於て一層必要とする、從來
村諸關係の團體に於ける役
我が國では生命保險、火災
海上、運送その他各種の損
害保險が早くから行はれて
ゐる是れ等の保險の多くは
平町でも同様であらうかと
思ふが、夫れには一ツの動機

した収入減の對策を協議の
結果今九月分の給與から勞
働者三十五名及び事務員十
三名に對する俸給並に賃銀
の一割減を行ふことになつ
たが不況の深刻さが一般に
も知られてゐるので何等の
不平も唱ひられてゐない様
様である尙ほ會社が之れに
よつて浮み上る金額は一ヶ
月約二百圓である。

自動車
正面衝突
内郷國道で
二名の負傷

▲出生平町南町二六番柳
實四女文字二月二十八日
郡湯本町字傾城四十で
▲死亡平町胡摩澤百十四
阿保永助（四）十七日
▲死亡平町新川町三八居
住石城郡下小川村萩野す
み（四）十七日午前五時

廉價譲りたし
目下使用中
大町若松醫院

畜保の沿革
流石は畜産の本場である
だけ歐州では既に二百年も
前から畜保保險が普及して
ゐると云はれてゐるのであ
ると云はれてゐるのである

（休）日曜大祭日
一ヶ月二十五錢
一ヶ月十錢
一ヶ月五錢
發行所 廿錢
料 廿錢
料 廿錢
發行所 廿錢
料 廿錢
料 廿錢
發行所 廿錢
料 廿錢
料 廿錢
發行所 廿錢
料 廿錢
料 廿錢

散見される原野の開
田或は薪炭材の伐採並に製
炭その他桑蚕方面にも手頃
の不便から取扱貨物を激減
關係の深い團體であつて之
れにたづさはる役職員の勞は
云ふまでもなく其の活用は
力を俟つことが施行初期に
於て一層必要とする、從來
村諸關係の團體に於ける役
我が國では生命保險、火災
海上、運送その他各種の損
害保險が早くから行はれて
ゐる是れ等の保險の多くは
平町でも同様であらうかと
思ふが、夫れには一ツの動機

した収入減の對策を協議の
結果今九月分の給與から勞
働者三十五名及び事務員十
三名に對する俸給並に賃銀
の一割減を行ふことになつ
たが不況の深刻さが一般に
も知られてゐるので何等の
不平も唱ひられてゐない様
様である尙ほ會社が之れに
よつて浮み上る金額は一ヶ
月約二百圓である。

自動車
正面衝突
内郷國道で
二名の負傷

▲出生平町南町二六番柳
實四女文字二月二十八日
郡湯本町字傾城四十で
▲死亡平町胡摩澤百十四
阿保永助（四）十七日
▲死亡平町新川町三八居
住石城郡下小川村萩野す
み（四）十七日午前五時

廉價譲りたし
目下使用中
大町若松醫院

畜保の沿革
流石は畜産の本場である
だけ歐州では既に二百年も
前から畜保保險が普及して
ゐると云はれてゐるのであ
ると云はれてゐるのである

した収入減の對策を協議の
結果今九月分の給與から勞
働者三十五名及び事務員十
三名に對する俸給並に賃銀
の一割減を行ふことになつ
たが不況の深刻さが一般に
も知られてゐるので何等の
不平も唱ひられてゐない様
様である尙ほ會社が之れに
よつて浮み上る金額は一ヶ
月約二百圓である。

自動車
正面衝突
内郷國道で
二名の負傷

▲出生平町南町二六番柳
實四女文字二月二十八日
郡湯本町字傾城四十で
▲死亡平町胡摩澤百十四
阿保永助（四）十七日
▲死亡平町新川町三八居
住石城郡下小川村萩野す
み（四）十七日午前五時

廉價譲りたし
目下使用中
大町若松醫院

畜保の沿革
流石は畜産の本場である
だけ歐州では既に二百年も
前から畜保保險が普及して
ゐると云はれてゐるのであ
ると云はれてゐるのである

した収入減の對策を協議の
結果今九月分の給與から勞
働者三十五名及び事務員十
三名に對する俸給並に賃銀
の一割減を行ふことになつ
たが不況の深刻さが一般に
も知られてゐるので何等の
不平も唱ひられてゐない様
様である尙ほ會社が之れに
よつて浮み上る金額は一ヶ
月約二百圓である。

自動車
正面衝突
内郷國道で
二名の負傷

▲出生平町南町二六番柳
實四女文字二月二十八日
郡湯本町字傾城四十で
▲死亡平町胡摩澤百十四
阿保永助（四）十七日
▲死亡平町新川町三八居
住石城郡下小川村萩野す
み（四）十七日午前五時

廉價譲りたし
目下使用中
大町若松醫院

畜保の沿革
流石は畜産の本場である
だけ歐州では既に二百年も
前から畜保保險が普及して
ゐると云はれてゐるのであ
ると云はれてゐるのである

した収入減の對策を協議の
結果今九月分の給與から勞
働者三十五名及び事務員十
三名に對する俸給並に賃銀
の一割減を行ふことになつ
たが不況の深刻さが一般に
も知られてゐるので何等の
不平も唱ひられてゐない様
様である尙ほ會社が之れに
よつて浮み上る金額は一ヶ
月約二百圓である。

自動車
正面衝突
内郷國道で
二名の負傷

▲出生平町南町二六番柳
實四女文字二月二十八日
郡湯本町字傾城四十で
▲死亡平町胡摩澤百十四
阿保永助（四）十七日
▲死亡平町新川町三八居
住石城郡下小川村萩野す
み（四）十七日午前五時

廉價譲りたし
目下使用中
大町若松醫院

畜保の沿革
流石は畜産の本場である
だけ歐州では既に二百年も
前から畜保保險が普及して
ゐると云はれてゐるのであ
ると云はれてゐるのである

した収入減の對策を協議の
結果今九月分の給與から勞
働者三十五名及び事務員十
三名に對する俸給並に賃銀
の一割減を行ふことになつ
たが不況の深刻さが一般に
も知られてゐるので何等の
不平も唱ひられてゐない様
様である尙ほ會社が之れに
よつて浮み上る金額は一ヶ
月約二百圓である。

自動車
正面衝突
内郷國道で
二名の負傷

▲出生平町南町二六番柳
實四女文字二月二十八日
郡湯本町字傾城四十で
▲死亡平町胡摩澤百十四
阿保永助（四）十七日
▲死亡平町新川町三八居
住石城郡下小川村萩野す
み（四）十七日午前五時

廉價譲りたし
目下使用中
大町若松醫院

畜保の沿革
流石は畜産の本場である
だけ歐州では既に二百年も
前から畜保保險が普及して
ゐると云はれてゐるのであ
ると云はれてゐるのである



改革概論 (143)

大内民恵

参考資料

かくて幾度か訪問して樽組折衝の結果、其頃としては大金である金七十圓と私の書いた請願書に署名捺印してくれたのであります。私はそれを持つて村長及二三村會議員の有力家に向つて個人としてさへかゝる特志家があるものであるから一般村民としては、大に奮發せざるべからざることを説いたのであります。結局増設費、創設費は寄附金によることに村議一決し職員一同は各大字に手別して寄附金募集にとりかかり、見事に成功して高等科が設置されたのであります。此時に私は、小學校教員は、たゞ教場内に於て受持児童を教育するのみならず、一般村民を教導すると云ふ大きな責任を有するものであるといふことを痛切に感じさせられたのであります。こゝにいよいよ私の所謂教育分區主義の有力なることをさとしたのであります。

かくて私は尋常科卒業生を其まゝ持つて杉田村校初的高等科一年と、補習科から編入された高等二年とを合級として擔任することになつたのであります。かくて引續き高等四年まで其上の級が其下の級かを合級にして受持ち明治三十八年三月にいよいよ尋常二年以

來(高根君等は尋常一年から)受持つた我最愛なる弟子を卒業させたのであります。

●破格の勉強で

静岡本場 大角園 特約
小笠原茶 大角園 特約

半谷 商店
平大町若松病院隣

平町 市原醫院

外科 小児科 梅毒 淋病

電話一四一

平町 藤沼醫院

電話七〇五

入院應需

ドンナ御帽子をお撰になりますか
秋から冬へ

●中折、鳥打、小供帽
断然ウルトラモダンの
の眼もさめるような美
しい品々が豊富に取揃
ました

店 品 店
モリタヤ
洋 品 店
電話三五三番
平町



秋とサロン

サロンの黒ビール

天は高く 氣は朗かに
美味にして 芳醇の香り高き

サロンの黒ビールを召せ

サロン
田町電三五二番

召上りせま

安くて うまくて
品がよい

カフェー
タイラ食堂

(話電) 番〇二六

御進物には 商品切手

味噌醬油 正宗 罐詰總節

山崎會社
電話 釀造部 二七番
營業部 一〇番

良品の位

アゲイン

幾多の治療劑超中然として偉効靈能を有するものは獨り本劑のみ

肺病、肋膜炎、肺炎カタル等々

定價二圓、四圓、六圓

平町五丁目角
特約店 山野邊藥局

中島寫眞館

よろこびございますか
うちりますますよ

平町字田町

平町・電話五一三番

高久病院

院長醫學士 高久 忠

内外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

鶴印 特製 最中

大鶴菓屋菓子舖

電話四〇七番 町平城

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

和洋問屋 鋼鐵

良品廉賣は 弊店のモットー

店商屋釜

電話九九番 平町五丁目